

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2024.12.21

No.081



2024年12月20日提出

八地申

第12号

三鷹営業統括センター管内の各駅ご利用のお客さまを 置き去りにしない安全で安心な駅職場を求める申し入れ

三鷹営業統括センターでは、日々繰り返されている要員不足による疲弊のみならず、業務や会社施策に対する不平・不満を抱える社員が大半を占め、ひいては駅をご利用されるお客さまに多くの不便を強いることにも繋がっています。

三鷹エリア分会は鉄道事業者として「安全性」「専門性」の重視することの重要性を日々職場で訴えています。これらの声を通ることはなく、益々不安全な方向に向かっていきます。第一線で働く社員が「働きがい」「生きがい」「こころの豊かさ」を実感できる駅職場を再構築するため、八王子地本は以下の8項目を申し入れました。

申し入れ項目

1. 三鷹営業統括センターにおける「駅の役割」「適正要員」「代務」について、それぞれの考え方を示すこと。また、「出面数」「社員の現在員数」「泊まり勤務に指定できない社員数」について、三鷹・武蔵小金井・国分寺の各駅それぞれ示すこと。
2. 三鷹営業統括センター発足日から交渉開催日までの期間におけるみどりの窓口“臨時窓口”の稼働実態について、三鷹・国分寺の各駅・月別にそれぞれ示すこと。また、みどりの窓口を順次閉鎖していくとしていた会社施策を凍結する判断をした理由と凍結後に職場が講じた対策について、それぞれ具体的に示すこと。
3. 三鷹営業統括センター発足日から交渉開催日までの期間における「相互運用」の実施に伴い発生した「課題」と「どのように対応したか」について、それぞれ具体的に示すこと。
4. 三鷹営業統括センターにおける見習い教育を担当する社員の選定基準について、具体的に示すこと。また、三鷹営業統括センターへの転入者に対する見習い教育が「過去経験していて知識はあるから」形骸化されていることに対する見解とどのようなことに留意した教育を実施しているのかについて、それぞれ具体的に示すこと。
5. 駅における本来業務と企画業務それぞれに集中できる環境を整えるために、作業ダイヤにおける「フレキシブル」なる表記を止め、具体的な作業を明確に指示する作業ダイヤに改めること。
6. 出勤当日及び出勤後の勤務変更に協力した社員に対して「別途手当」を支給すること。また、三鷹営業統括センターの発足日である2022年3月12日まで遡って支給すること。
7. 「融合と連携」を職場で一般社員へ繰り返し提唱するのであれば、職場管理者は社員管理だけでなく券売機トラブルや改札・みどりの窓口における案内などへの対応できるよう技術と技量を身に付け、管理者における「融合と連携」も推進すること。
8. 2020年4月1日以降「新たなジョブローテーション」施策実施に伴い三鷹・武蔵小金井・国分寺の各駅への異動した社員から「望んだ異動ではない」「未だにモチベーションが上がらない」「前職場に戻りたい」などの声が出ていることから、本人の求めに応じて元職場または元職種へ戻すこと。また、今後希望していない箇所への異動を行わないこと。

施策のビジョンと大きく乖離した現実には会社は向き合い、是正を！